

学校だより

No. 14
令和7年3月21日
東京女学館小学校



卒業式式辞より(抜粋)

私の好きな画家に星野富弘という人がいます。その絵を初めて見たときの驚きは、忘れることができません。星野さんは若いころ、器械体操の選手として活躍していました。得意なことを生かして、星野さんは中学校の体育教師の道へと進んでいきます。

自分の夢を描いていた教師生活も二か月が過ぎたある日、そんな星野さんを不幸が襲います。器械体操の部活動を指導中、マット運動の模範演技を見せた時、二メートル以上の高さから頭から落ちてしまったのです。医師の診断は頭髄損傷、第四頸椎前方脱臼骨折。星野さんは、それ以来、歩くことも、寝返りを打つことも、自分でトイレに行くこともできなくなりました。

星野さんは嘆き、悲しみました。でも、あることをきっかけにして、口に筆を加えて絵を描くようになったのです。そしてその絵の片隅に、自分の想いを字でつづり始めました。私の首のように、茎(くき)が簡単に折れてしまった。しかし葉の花はそこから芽を出し、花を咲かせた。私もこの花と同じ水を飲んで、花を咲かせる。

同じ光を受けている、強い茎になろう。自分の現実を受け止め、先をしっかりと見据えている力強い言葉です。卒業生の皆さん、これからの人生、苦しいときや悲しくなる時があるかもしれませんが、でも、どんなときでも、顔を上げて、前向きに生きてください。

神様がたつた一度だけ

この腕を動かしてくださるとしたら
母の肩をたたかせてもらおう
風に揺れるへんべい実を見ていたら

そんな日が本当に、来るような気がした

星野さんは体が不自由になってからずっと、お母様に付き添ってもらいました。色を混ぜ合わせるのも、食事や用便のお世話も、お母様の仕事でした。自分の置かれた環境から、新たな感謝の気持ちが生まれたのです。

卒業生の皆さん、人は一人では生きていくことはできません。これからの人生、お世話になった人への感謝の気持ちを忘れることなく、日々を過ごしてください。感謝の気持ちを持ち、優しい、あったかい人間になってください。そんな星野富弘さんも、昨年の四月、七十八歳でこの世を去りました。

皆さんは、感染症対策のため、小学校生活の大切な時期に、制限が多い中で生活を強いられました。

「コロナで生活の制限を受けた、我慢させられた。」と思うだけでなく、「制限させられたことにより、新しい景色が見えた。」と前向きにとらえてください。問題解決しながら進んできた皆さんです。きっとできると思います。

令和七年三月十八日

東京女学館小学校 校長 盛永 裕一



送別ドッジボール大会 3月6日(木)

体育科 教諭

3月6日(木)に送別ドッジボール大会を行いました。2月25日(火)から3年生以上で予選が始まりました。思い切りボールを投げたり、ボールをよく見て捕ったりして、一人ひとりがチームの勝利に向かって一生懸命取り組む姿がどの試合でもみられました。本戦には5年生・6年生が進出し、全校児童が応援する中で準決勝が行われました。高学年の素早いパス回しや、力強いボール、フェアプレー精神を心がけた真剣な姿に、下級生から憧れのまなざしが注がれていました。決勝戦は5A対5B。捕っては投げて、投げては捕られての連続で、残り5分の2ボールではどんどんボールが飛び交い、見ていてとても面白い試合でした。熱戦の結果、5Bが優勝しました。50年以上続く送別ドッジボール大会。閉会式では在校生を代表して3年生が6年生へ送別の花束を贈りました。終わりの言葉では、6年生から下級生へ「ドッジボール大会を通して学んだことをいかして、たくさんのことに挑戦してほしい」というメッセージが送られました。6年生の思いを受け取り、また来年のドッジボール大会にむけて、いろいろなことに挑戦し、これからも楽しくドッジボールをしてほしいと思います。

来年度運動会のメダル決定

運動会の参加賞になるメダルデザインを全校から募集しました。各クラスで選ばれた候補作品の中から、全校児童で投票を行い、来年度は5年生A組児童のデザインに決まりました。ポンポンとトロフィーを持った2人のかわいい女学館生が描かれている作品です。どんなメダルキーホルダーが出来上がるのか運動会を楽しみにしてください。



鼓笛隊引継ぎ式 3月10日(月)

《引継ぎの言葉》

私たちは、体操朝会、運動会などの様々な場面で演奏させていただきました。失敗したときは、みんなで原因を考えて解決し、うまく演奏できた時はとても嬉しかったです。2月の展示会の舞台発表では、たくさんの拍手をいただき、私にとって小学校生活の深い思い出になりました。私たち鼓笛隊にとっても、くいのない最高の大舞台となりました。

新しい鼓笛隊のみなさまも、この伝統ある鼓笛隊を引継ぎ、心に残る演奏をするために頑張ってください!

6A 児童



生活科校外学習こどもの国 1年生 3月4日(火)

1A 児童

子どもどうぶつえんはうさぎとモルモットをさわって、かわいくて、さらさらして、気持ちよかったです。わたしたちがいったとき、クジャクがはねをひろげていて、しゃしんをとりたくなるほどきれいでした。ミニSLはトンネルがあって、本ものになっているみたいでした。みんなでなかよくこうどうして、たのしくあそべたとおもいます。



1A 児童

おもしろじてん車の2人のりが、とってもたのしかったです。がんばったことは、みんないっしょにこうどうできたことです。わたしはとけいがかりだったので、はんのみんなにじかんをつたえて、きめられたじかんの中でグループでできたよいでまわれるようにがんばりました。けいかくがぜんぶできて、うれしかったです。



1B 児童

わたしは、はんちょうでした。みんながきちんとついてきてくれるかとてもしんぱいでした。なんどもふりかえってかくにんしました。みんなついてきてくれたのであんしんしました。はんのみんなでソフトクリームをたべました。さむかったけれど、みんなとたべたらおいしかったです。

1B 児童

みんなできょうカして、たのしい一日がすごせてうれしかったです。ひつじやうし、かもにもえさをあげました。たのしかったです。みんなで大きなおかにのぼりました。「やっほー」とみんなでいいました。おかの上ののぼったとたん、からだがあたたかくなりました。すてきなけしきも見られました。

生活科校外学習こどもの国 2年生 3月7日(金)

2A 児童

みんなで列になってまとまって歩くことは少しできなかったけれど、一番大切な「けがをしないで安ぜんに気をつけてあそぶ」が守れてよかったなと思いました。また子どもたちだけで計画して行動する遠足に行きたいです。



2A 児童

こどもの国ではみんなとえがおであそべました。またもんだいがあっても、みんなでそうだんしてかいけつできました。一年生の時よりもみんなできょうカしてみんなでかいけつできて、一人ひとりの心が大きくなったなと思いました。



2B 児童

1年生のときにのれなかったポニーにのれてとてもうれしかったです。8人でくふうして行こうすることができ、1年生の時のはんせいを生かすことができうれしかったです。1日中、とても楽しかったです。

2B 児童

2年生として、ふくはん長として、せいいっぱいがんばれたきがしました。みんなで力を合わせて「はんの友だちとなかよくあそぶ」のめあてをかんぺきにまもれたと思います。はんせいの○(よくできた)が1年生の時よりふえました。

ひなまつり会 3月3日(月)

1年生担任

1・2年生による「ひなまつり会」が行われました。2年生のお姉さまへのプレゼントを準備する時からわくわくしていた1年生。本番は、少し緊張した様子で2年生のお姉さまを拍手でお迎えしました。1年生からは、心を込めた歌と鍵盤ハーモニカの演奏をお届けし、2年生からは、楽しいおどりを交えた力強い歌の発表がありました。1年生、2年生、それぞれの良さが光る発表でした。発表の後は、1年生から2年生へ、お礼のお手紙とつばさで作った絵、キャンディーマグネットを詰めたプレゼントをお渡ししました。1年生の表情からは、1年間、2年生のお姉さまにさせていただいたことを今度は自分たちがするんだという決意も感じられるようでした。

最後に全員で「うれしいひなまつり」を歌い、今年度のひなまつり会を締めくくりました。



すずかけ「お箸の使い方」(2/20~2/25) 担当教諭

今年度も南部 久美子先生を講師にお迎えして、授業が行われました。1~3年生は自分の使い慣れたお箸で、4年生は割り箸で、正しいお箸の使い方を丁寧に指導いただきました。お箸は「挟む」「摘まむ」「運ぶ」などの、11個の動作をすることができます。1~4年生の授業では、その動作の一つでも多くできるように挑戦する姿が見られました。4年生は、お箸を持ちながらお箸を持つ方法を教わったので、来年度のテーブルマナー教室でも是非活かしてほしいと思います。5年生は、折れた野球バットからできたお箸に着色をして、世界に一つだけのMY お箸を作りました。出来上がりが楽しみです。



クラブ三校対抗親善試合

3月1日(土) 会場: 東洋英和女学院小学部 体育科 教諭

毎年恒例の東洋英和・豊明・東京女学館小学校の女子校三校による親善試合が行われました。参加クラブはバドミントン・テニス・バレーボール・バスケットボールです。今年度は卓球クラブも参加し、東洋英和・白百合・東京女学館の三校で試合を行いました。どのクラブも年に1回のこの対外試合に向けて、たくさん練習をしてきました。勝敗や学校に関係なく、上手なプレイには自然と拍手があり、年間でがんばってきたスポーツを大いに楽しみました。試合後のランチ交流会では同じ運動クラブの他校の児童とお話し、和気藹藹とした雰囲気の中で、親睦を深めることができました。

バスケットボールクラブ

私がバスケットボールクラブの活動で最も楽しみにしていることは親善試合です。なぜなら他校との交流を深められ、バスケットボールの技術をみがけるからです。私たち6年生はもともと人数が少なく、5年生の人数が6年生チームに入りました。1回目の試合は東洋英和さんとの試合でした。次は豊明さんとの試合で、最後は三校の6年ミックスチームで試合をしました。英和さんも豊明さんもとても強くて学べるがたくさんあり、ミックスでは他校の6年生と同じチームでプレイをして、仲を深めることができました。最後の親善試合はとても楽しくて、良い思い出になりました。

6A 児童

バレーボールクラブ

親善試合の感想を6年生が一言ずつ書きました。

たくさんのチームと試合をし、2勝2敗でした。もっと力をつけて頑張ろうと思いました。(6A 児童)

最後の試合で、全力を出すことができました。しっかりサーブが打て、よい経験になりました。(6A 児童)

最初サーブが入らなかつたけれど、最後にはしっかり点を入られたのでよかったです。(6A 児童)

試合の結果は2勝2敗でした。サーブもたくさん入り、活躍できたので、満足することが出来た最高の日でした。(6A 児童)

6年生で最後の試合でした。3年間のがんばりを自分なりに思い出しながら、プレーすることができました。(6B 児童)

テニスクラブ

今回は、日が照っていてとても気持ちがよく、絶好のテニス日和でした。

ダブルスの試合では、ペアの子と、お互いに「そっちにいったよ!」と声を掛け合い、カバーしあつたので、同点にできました。新6年生のみなさん暑さ寒さに負けずチームワークで後はいを引っぱって行ってください。(6B 児童)

一年ぶりの試合で、東洋英和さんも女学館も去年よりとても上手になっていて、すごく面白い試合がたくさんできて良かったです。テニスの試合が終わった後は、東洋英和さんの食堂でお弁当をいただきました。達成感を感じながら食べたお弁当は、さらにおいしく感じました。(6B 児童)

卓球クラブ

「最後の親善試合」

私は、今回二回目の親善試合に出場しました。5年生の時は、準決勝で負けて悔しかったので、この一年間試合に勝てるように練習を積み重ねてきました。

試合当日、リーグ戦では全勝することができました。4年生、5年生も大活躍し、5人がAリーグに出場できました。トーナメント戦では、最初は負けていたけれど、あきらめず戦って勝つことができました。決勝戦では2年連続優勝した選手と戦いました。とても強く、なかなかボールを打ち返せず、粘ったけれど負けてしまいました。今回、2位という結果は去年よりも良かったのに、なぜか去年よりも悔しく感じました。私は卒業するけれど、来年は後輩が優勝できると信じて、応援しています。

6A 児童

バドミントンクラブ

私たちは、東洋英和と豊明小学校の皆さんと3つのコートに分かれて試合をしました。ルールは11点マッチのデユース無しでした。私は4・5年生の時の親善試合は1回も勝つことがなく、絶対に1回でも勝つてみたいと思って1年間皆で頑張つて練習してきました。結果は4回戦中2勝2敗でした。いつもと違う人と試合ができて、色んな打ち方などを学びました。そのあとは全員でレクリエーションをしました。チームに分かれてドッジボールもしました。他の学校の皆とドッジボールをしたことがなかったので、いつもと違ってすごく楽しかったです。他にも都道府県を用いたゲームなどをして仲が深まりました。この親善試合で友達も何人かできてとても貴重な経験になりました。このことは一生忘れません。6年生はこのメンバーでバドミントンをすることはもうないけれど、これからも今までの思い出を出して家族みんなでバドミントンをしたいです。

6B 児童



令和6年度 第91回卒業式

3月18日(火)に第91回卒業式を記念講堂で挙行了しました。通い慣れた学び舎を後にしたのは74名の卒業生です。式では、担任の先生の指名呼称にしっかりとお返事をして壇上を進み、盛永校長先生から卒業証書をいただきました。式辞や祝辞では新しいステージでの活躍の励みになるような数々のお言葉いただきました。6年間の半分ほどは、コロナ禍の規制の下での学校生活だった子どもたち。それでも学びや人のつながりを絶やさず笑顔で生活を送ることができたことへの感謝が、在校生代表の送辞や卒業生代表の答辞で述べられていました。

ダイナミックで自分の思いを素直に表現することの多かった今年の卒業生は、「緊張」「厳粛」を保てるようになるまでに時間がかかり、練習では思い思いの方向を向いていました。式前日には、卒業の歌「仰げば尊し」で伝えたい気持ちや6年間の振り返って今、どのような思いなのかなどを話合いました。また、証書をいただく際の立ち居振る舞いはどうあるべきかを改めてなぞっていました。そして迎えた当日は、一人ひとりの思いが体現された晴れ姿や卒業生の結束が見られた卒業式となりました。式の終わりは、参加者全員での校歌斉唱。1年生から5年生にとって、6年生と一緒に歌える最後の校歌。それぞれの感謝がこもった歌声は、講堂中に優しく大きなまとまりとなって響きわたりました。

3月末には、卒業記念品として贈呈された2本の桜が小学校校舎の裏で花開きます。いつまでも小学校に彩を添えてくださることに心より感謝申し上げます。保護者の皆様には卒業式後に心温まる謝恩会まで開催いただき、本当にありがとうございました。教職員皆で、感謝と共に子どもたちの健やかなご成長を心より祈念し、旅立ちを祝福いたしました。

🌸ご卒業おめでとう🌸

小学校教頭 下田 栄子

生活指導部より

生活指導部長

通学時に所持しているものについて、以下のことを再度ご確認ください。

(1) ICカード

カードマネー機能がついていますが、登下校中は通学以外の目的(買い物等)で使用させないでください。通学に必要な金額を確認して、保護者の方があらかじめチャージしてください。学バスで使用する場合、定期入れにICカードが入っていると、バスの定期券を見せる時に機械に反応して料金をとられる場合があります。利用方法と注意事項については、ご家庭でもお話しください。

(2) 位置情報端末

位置情報端末は、登下校の安全確認のために所持するものです。メールや通話の機能は使用しません。ご家庭でも使い方の約束を守ってください。

※その他、春休み中に「児童手帳」「保護者のしおり」を読み直し、新年度に向けて学校のきまりをしっかりと確かめてください。(新年度一部変更あり)